

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

540-593

事務事業名	道路舗装補修事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	2	2	11	1	200,000
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等		・道路法				
		事業期間		年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・飯田市道(1級市道、2級市道、その他市道)	・舗装延長: Km	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			1300	1300		
	・市道本数: 本		現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			5066	5066		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
・道路舗装の不良箇所を補修することにより、安全で円滑な交通を確保する。	・舗装補修実施箇所数: 箇所	18目標	300	最終目標		
		18実績	320	19目標	300	
		23目標	300	23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・破損した舗装箇所や老朽化した舗装を補修し、快適で安全な交通の確保と、沿道住民の住環境の保全を図る。	・道路舗装補修工事(オーバーレイ・舗装打替・部分補修等) (上下水道工事関連含む)	補修工事数: 箇所	320箇所
	18年度の実績			
	19年度計画	・道路舗装補修工事(オーバーレイ・舗装打替・部分補修等) (上下水道工事関連含む)	補修工事数: 箇所	300箇所程度

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金	0	0
	特定財源	0	0
	起債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	178,938	200,000
	事業費計(A)	178,938	200,000
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,100	19年度 1,100
	臨時職員等所要時間	3,200	3,200
	人件費計(B)	7,374	7,374
	トータルコストA+B	186,312	207,374

特定財源内訳や補足事項	電源立地地域対策交付金事業
-------------	---------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・交通の安全性が向上し、事故防止につながる。 ・沿道住民への騒音・振動等が軽減される。 ・荷崩れ等の被害が減少し、良好な流通が確保される。	・瑕疵事故および苦情件数: 件	現状値	15	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>・アスファルト舗装の対応年数は、一般的に10年で有り、補修、打ち直し等が必要となる。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>・交通量の増加、車両の大型化等で大規模な舗装の痛みが随所で見られている。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>・補修要望は、毎年多数報告されている。特に近年、車両の大型化に伴うところの舗装の損傷により、大規模な補修が必要な路線が増えているため要望も多い。また、事故につながる等の緊急性も高いことから、早急な対応が必要である。</p>
---	--	---

**【See】18年度の振り返り**

<p><b>目的妥当性評価</b></p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p> <p>(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)</p> <p>・交通の安全性の向上・沿線環境の向上。</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p> <p>・舗装補修については、比較的小規模工事が多いが、幹線道路等重要路線については大規模補修工事を実施し、整備効率の向上と事業費コストの削減を行う。</p>	
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p> <p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>・全ての市道が対象である。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p> <p>(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)</p> <p>・通過交通の全ての車両の運行に支障をきたす。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p> <p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>・舗装補修必要箇所の整備を行い、交通の安全を図るため。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p> <p>(評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p> <p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要ない (その理由)</p> <p>・道路の管理責任は飯田市である。</p>		<p>効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p> <p>(評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由)</p> <p>・大規模補修工事による整備効果の向上と事業費コストの削減</p>
	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p> <p>(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>・全市民が対象である。</p>		

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具体化</p>	<p><b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b></p> <p>・小規模補修箇所を複数一括で発注することによる経費の節減。 ・他事業(下水道・水道等)との合併施工による経費の削減。</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>・工事発注体系の見直しや他事業との連携による経費の削減。</p>

**【補足事項環境側面】**

(1) 環境影響評価の必要性判断	<input type="checkbox"/> 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

**【指摘事項】**

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	